

7.

花の4月 関東で country walk 2001.5.

- 7.1. 残雪の上州 赤城山赤城山の最高峰 黒檜山 ミニ登山
 7.2. 墨田堤・隅田川 夜桜 2001.4.7
 7.3. 柏 春真っ盛り 柏 あげぼの山 チューリップ 満開

7.1. 残雪の上州 赤城山 赤城山の最高峰 黒檜山ミニ登山



akagi.htm by M. Nakanishi 2001.4.2.



4.2. 東京では 桜が満開。街には春山の雑誌特集があふれている。朝日新聞社が週刊「日本百名山」を発刊し、毎週山の写真が届くようになり一層山へ出かけたくなっている。



上越線や上越新幹線が高崎を過ぎると前橋市の後方に大きく独立の山塊としてそびえる赤城山。

沼田から尾瀬への入口へバスで登って行く途中でも、その山塊が雄大に見える。

爆裂火口湖である大沼・小沼を中心にその周囲に最高峰黒檜山 駒が岳 地蔵岳などの外輪山をもつ山塊の総称が赤城山。スケールが大きい割に火口湖大沼までハイウェイが通じているので1,2時間で頂上に立つ事ができる。

上州名物「空っ風」の吹き降ろし口にある山。そばを通るたびに一度は行こうと思いつつながらその手軽さからまだ行けなかった山である。



赤城駅休日に良く使う東武線にも「特急赤城」がある。通常どおり、上野から JR で前橋へ行くのは癪。北千住から東武特急「赤城」に乗って行こうと考えたのが間違い。

まあ 電車にも全く赤城山の広告もハイキングのポスターもなくおかしいとは思ったのですが、東武特急「赤城」の終着駅「赤城」は桐生を出た何

もない駅で確かに背後には赤城山が聳えているのですが、全く入山の為の駅ではなし。

赤城山の麓の平野部を桐生から前橋まで結ぶ両毛電鉄の乗り継ぎ駅。結局 この両毛電鉄で前橋まで行って赤城山に向った。約 2 時間のロス。前橋からタクシーを交渉して赤城山の登山口大沼 赤城山ビジターセンターへ向った。



東武特急「赤城」と両毛電鉄電車「赤城」駅で



氷結した「大沼」越しの赤城山最高峰 黒檜山



登山口 赤城山ビジターセンタ

桜が満開の前橋から一直線に赤城山地蔵岳の麓を山へ上って行く。非常に広い高原の裾野である。うららかな春の陽気。今日はハイキングの気分であったが、車が登って行って峠を越えると景色は一変。山々には残雪 樹木は冬のまま まだ春遠しの感じ、樹木の間から大沼が見え出したが、完全に凍結したままである。ハイウエーには雪がないが、ここはまだ冬。

谷川岳 上越国境は豪雪地帯とおもっていたが、その南の赤城山も春とはいえ 雪の中 大沼の黒檜山登山口から頂上まで。久しぶりにずっと雪に被われた登山となった。

黒檜山 大沼登山口から急登 赤城山稜線へ



雪の登山道



黒檜山 登山口で

予想外の残雪と帰りのバス時間に合わせ、黒檜山へ直接登り、その上で黒檜山から駒ヶ岳への縦走を考えることにし、黒檜山登山口からスタートした。

山の北斜面となる登山道は道・踏み跡はしっかりしているものの完全に残雪に覆われている。何年振りの雪道登山だろうか・・・暖かい春の風をうけながら雪を踏みしめて行く。さすがに 人影なし。

樹林の中、30分ほど登った広い斜面で上から降りてくるペアーに出会う。「道は確りしているが、ずっと雪道。頂上・稜線も残雪に覆われている。登りより下りが大変・・・」と聞く。

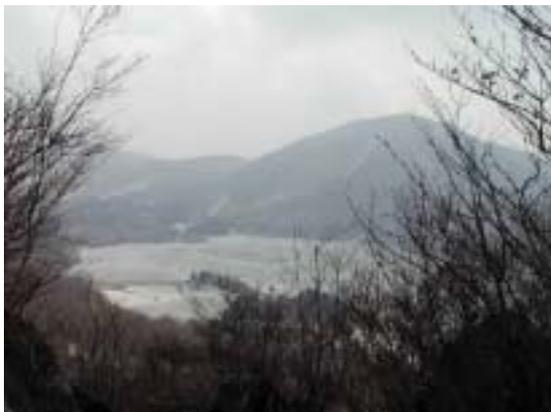
軽いハイキング気分でやって来たが、やっぱり4月上旬 豪雪地帯の上州はまだ冬山。無理せずゆっくり登る。

まだ芽吹いたばかりで葉のない樹木と一面を被う雪、振り返ると樹木の中に凍結した大沼が見える。雪の踏み跡を一步一步登るが、時としてボソッとひざまで雪の中にめり込む。

黒檜山登山道から 振り返ると眼下に凍結した大沼が見える

尾根筋にとっついた所で凍結した大沼を前に赤城山外輪山の全景が樹木の間から見える。

大きな沼が全面凍結しているのを見るのは初めてである。



凍結した大沼と赤城山 外輪山

黒檜山の尾根筋の登山道で 2001.4.2.

尾根はがらがらした起伏の多い細い尾根がつづいているが、やっぱりここも残雪に覆われている。滑らぬよう一步一步石に足を置く。静かな山道 時間は気になるが快適。

下を見るきれいなゴツゴツした黒檜山の尾根が崖となって下へ切れ落ちている向こうに切り立った稜線の下から中岳・駒ヶ岳の広い裾野が美しい曲線を描いて大沼まで続いている。また 尾根筋を見上げると黒檜山の頂上が樹木の間から見え出した。



黒檜山の尾根筋の登山道で

赤城山縦走路から黒檜山へ



赤城山頂上とその近傍 縦走路



下から歩き出して2時間足らずで 残雪の赤城山最高峰に到着。
空は晴れているけれども春霞。残念ながら 四方の山の遠望はきかず。
雪で覆われた稜線を歩き、静かな雪の頂上に立つ事ができた。



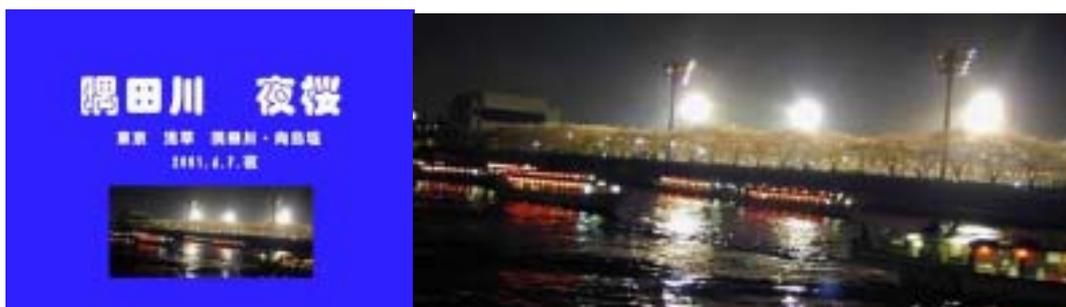
関東平野の春とその北の端 上州空っ風の吹き出し口赤城山はまだ冬の装い そのコントラストにもびっくり。まあ六甲山程度にかんがえていたが、やっぱり上越・豪雪地帯の山。認識あまし。
そのおかげで 春の陽気で桜満開の前橋にまでその広大な裾野をひろげる優美な赤城山と冬の装いの中 静かな残雪の山をゆっくり堪能できた。 帰りはバスの時間との競争になり、縦走をあきらめ、もと来た道を引き返す。

もうハイキングコースで俗化した山とっていましたが、シーズンを外すと静かな山。
残念ながら富士山まで遠望できる四方の山々を遠望することはできなかったが、氷結した大沼を中心にそこからそれぞれが特徴ある形を作り立ちあがる外輪の山々。また それらが一つの大きな赤城山として、山塊をなし、雄大な裾野を引く堂々とした風格。平野部から見る山とその中心部に入り登った山の違いこのコントラストのおもしろさ。

今はその中心である黒檜山から中心にある大沼とそれぞれ形の違う外輪の山々を見下ろしているが、逆に谷川岳や日光・尾瀬の山々や関東平野から見る赤城山の姿にもおそらく違った発見があるに違いない。そのコントラストが面白い。やっぱり深田久弥が日本 100 名山に選んだ山。

春 山歩きのスタートに選んだ山 good でした。

7.2. 墨田堤・隅田川 夜 桜 2001.4.7. 夜

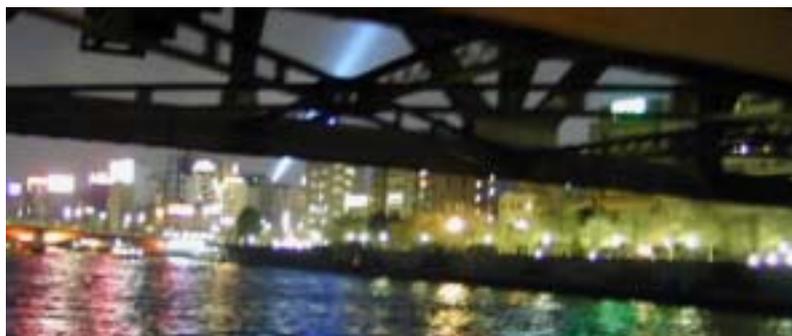


2001. 4. 7. 土曜日 東京は桜が満開。

上州 赤城山はまだ冬。雪の中を歩いてきた帰り、思い立って浅草 隅田川の土手へ夜桜見物に出かけた。以前 昼間に竹芝桟橋から浅草まで船で隅田川を遡り、川から桜を見物した事有り。今日は夜桜船に乗り、船から土手の桜見物。

浅草側の墨田堤も反対側の向島の桜も満開。提灯のぶら下がった土手に多くの人が見える。

川も夜桜見物の船で一杯。夜桜もさることながら川から見る。



街の景色も本当に美しい。久しぶりに夜の街に見取れる。土手の桜は暗くて良く見えないが、真っ暗な川に映える行き交う船の明かりと街のネオンとそして土手の桜と。人ごみの喧騒を忘れての1時間夜桜見物。

浅草からの夜桜船から 隅田川

土手

船を下りて墨田堤を歩くが人ごみの中桜の下で酒を酌み交わす人で一杯。うらやましくもあり、まあ大変と...。人ごみの中にぼつんといるとわびしいもの。桜見物切り上げ、街の店に飛び込む。一人遊びの1満ち足りた一日とわびしさの中 飲むビールはやっぱりうまい。

7.3. 柏 春真っ盛り 柏 あけぼの山 チューリップ満開



柏 あけぼの山 チューリップ園にて 背後は利根川の土手 2001.4.15.

4月15日晴天 イースター

柏の教会へ出かけイースターを祝うと共に今病氣と闘っている友に「ガンバレ」と祈る。

『チューリップ』トルコから中央アジアが原産地と言われ、イスラエルの野生種が原産との説もあり、聖地に咲く春の花の一つである。教会での祝会の後、ふっと思い立ってチューリップを見にバイクを走らした。

『風車を背景に満開に咲き誇る佐倉印旛沼湖畔・柏あけぼの山のチューリップ』。
幾度かポスターで見た千葉のチューリップ。

佐倉市 印旛沼チューリップ園

印旛沼湖畔のチューリップ園。期待した通りチューリップは満開。

風車をバックにイメージ通り。でも ちょっとちがう。都会では仕方がないので、人が多いのと湖畔を吹き抜ける風が巻き上げる砂埃でチューリップの花が心なしかすすけて見える。一面に咲き誇るチューリップからの匂いもあまりなし。でも 東京では有名税で仕方がないので・・・原色のあざやかな色に満足しつつも少し残念。



佐倉市 印旛沼湖畔 チューリップ園

柏のあけぼの山のチューリップ園へ。佐倉ほど有名でなし 夕方でも人も少なくなるのでゆっくり見られるとの期待・・・・・・・・。柏あけぼの山にまわる事にした。



チューリップ園 file 2001.4.15.

柏 あけぼの山 農業公園 チューリップ

印旛沼河畔

[内 あけぼの山 農業公園 花開の チューリップ 2001.4.25 午後 写]

柏あけぼの山・印旛沼のチューリップ園
2001.4.15.

チューリップが色々に咲いていると聞いて早稲田の中へ出かけました。
お平の池や中津川のチューリップ園よりチューリップが咲き揃った。チューリップよりも人が多く、特に印旛沼のチューリップ園では花がくすんで見えました。朝早くは花が咲き揃ったようでしたが、午後には花が萎んで見えました。朝早くは花が咲き揃ったようでしたが、午後には花が萎んで見えました。朝早くは花が咲き揃ったようでしたが、午後には花が萎んで見えました。

2001.4.15. 晴にて 林 33shiroshi

佐倉のチューリップ園より規模も大きいのにビックリ。夕暮れ迫り、人も少なし。利根川の土手とあけぼの山の丘にはさまれた田圃に色とりどりのチューリップが満開。正解でした。

満開のチューリップを前に曙山の向こうで茜色に染まる西の空。また反対側は利根川の土手をバックにチューリップと風車。

夕方だったのでよけいにそのように思えたのか花もあざやか利根川の川風に乗って チューリップの甘い匂いも・・・・・・・・



柏 あけぼの山 チューリップ園 file



3年前に行った富山県砺波のチューリップ園はその種類の多さと広さに圧倒され、また、チューリップの歴史やヨーロッパとの関わりおも勉強しました。チューリップの原産地がイスラエルなのもここで知りました。

昨年のはイースターは米子・日吉津のチューリップ畑へ。

日野川土手下に広大に広がる花栽培の畑。

大山を背に幾重にも並ぶ長い畝植えられたシンプルなチューリップも見事でした。孫誕生と重なってほんとうに嬉しい春でした。

今年のは関東でのイースター。一人見るチューリップ

イエス復活の時 少し早いかもしれないが、イスラエルの山々には色あざやかなチューリップがさいていたも・・・

チューリップ園の真中に立ち、暮れ行く夕日を楽しみました。

春真っ盛りを体で感じ また エンジニアとして第一線に立っていた友の闘病の報を受け、1日ずっと頭にあった「病氣と戦う友への祈り」とちょっと感傷的な1日でした。



2001.4.15. イースター 柏にて M.Nakanishi

7. 花の4月 関東で country walk 2001.5.

7.1. 残雪の上州 赤城山赤城山の最高峰 黒檜山 ミニ登山

7.2. 墨田堤・隅田川 夜 桜 2001.4.7

7.3. 柏 春真っ盛り 柏 あげぼの山 チューリップ 満開

【完】